

# 国際交流員ウルリーケ・エアメルの グーテンターク! Frohen Tag!



## 第3回 | ドイツでの祝日 ~『復活祭』

皆さんこんにちは。お元気ですか。まだまだ寒い日がありますね。今月の記事は私の故郷ドイツの習慣について皆さんに教えたいと思います。

日本では宗教によりお寺や神社がありますが、ドイツではキリスト教が広く行き渡った宗教です(総人口の65%)。だから、キリスト教に関する祭りや行事が多く、なかでも一番大事な行事はクリスマスで、イエス・キリストの誕生を記念して毎年お祝いされている休日です。しかし、クリスマスが終わると、どこを歩いててもクリスマスの飾りを見なくなり(当然ですがスーパーやデパートでもクリ

スマスのお菓子を買えなくなり、1月になると、もうすっかりクリスマスのことを全部わすれてしまいます。

しかしドイツでは、改めて別の飾り付けが必要になります。ドイツのカレンダーを見ると、すぐ別の行事がやってきます。

ドイツの復活祭、「イースター祭り」!! 2月になるとどこでも、イースターに関するいろいろな飾りやイースターチョコレート、イースターエッグが登場します。では、「復活祭とはどういう意味ですか」とよく聞かれるので説明しましょう。もちろん、復活祭もキリスト教に関する祝日です。少し詳しく説明しますね。

復活祭(ふっかつさい)は、イエス・キリストの復活を記憶するキリスト教最大の祭日。日本では英語由来のイースターとも言いますが、イースターの日取りについてカトリック教会は全世界で一緒にこのキリスト教最大の祝日をお祝いできるようにという趣意で、独自の計算法を定めています。これは毎年違う日に来ますので、大変難しい計算方法です。現在は春分の後の満月の次の日曜日(主日)に行われます。その起源はユダヤ教の「過ぎ越しの祭り(パサハ)」にあると推定されています。イースターには歴史と共に様々な風習

が生まれてきましたが、中でも知られているのが豊穡を示すイースターのウサギ、そして命の印である色卵、すなわちイースターエッグでしょう。

イースターエッグは、色を塗ったゆで卵であったり、卵の形をした装飾品であったりしますが、卵の模様や作り方、そして用い方は国によってそれぞれです。

卵は、もともと明るく色を塗って太陽の象徴として用いられていたもので、イースターには当初、キリストの血を意味する赤い色の卵が用いられました。今ではウサギと色卵がセットになって、イースターの卵はイースターのウサギが運んでくるとされ、イースターの朝、ウサギが庭に隠した色卵を子どもたちが探し回るゲームにもなっています。

この独特の習慣を、私と一緒にイースターエッグ作りやイースター料理を体験して、楽しみませんか?

今年のカレンダーによると、ドイツでは4月15日(土)~17日(月)の三日間、キリスト教徒はイースター祭りを楽しまます。下野市でも4月22日(土)に「世界の旅」ドイツ復活祭inきらら館を開催したいと思います。ぜひ来てください!お待ちしております。

全4回コース

## ウリさんのエアロピクス教室

ウリさんと一緒に気持ちのいい汗を流しましょう!

日時 5月17日・24日・31日、6月7日  
(いずれも水曜日)

午前10時00分~11時00分

場所 下野市勤労青少年ホーム

対象 一般市民(成人)

定員 25名

参加費 1人200円(保険料含む)



4月20日(木)から26日(水)までの期間、申し込みを受け付けます。(ただし定員になり次第締め切ります)生活課市民生活係(☎40-5555)へ電話で申込みください。

## 国際交流員ウリさんの『世界の旅』

~ドイツ復活祭inきらら館~

第3回

日時 4月22日(土)

場所 保健福祉センターきらら館 調理室、研修室

内容等

伝統的なイースターエッグ作りなど

時間: 午前9時30分~11時30分

対象: 親子15組(1組最大3人まで参加可能)

材料費: 子ども1人につき300円(親は無料)

ドイツイースター料理

~ヘーフェ・ツォップフ(菓子パン)

時間: 午後1時30分~4時

対象: 大人16名

材料費: 1人500円

4月17日(月)から20日(木)までの期間、電話で申し込みを受け付けます。(ただし定員になり次第締め切ります)生活課市民生活係(☎40-5555)へ申込みください。

